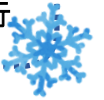


ぬかただより

岡崎市立額田図書館

冬号 No. 57

2020年12月発行



額田地区のあちこちで見られる「猪垣」^{ししがき}。山にいる猪や鹿が田畑に侵入するのを防ぐため、江戸時代に農民によって作られたと言われています。今号は、愛知県指定の有形民俗文化財にもなっている、額田の「猪垣」について取り上げました。

江戸時代の額田地区は、年貢が多い上、田畑が少なく猪や鹿などの被害が甚大。飢えて亡くなる人が出た年も、何度もありました。その苦しみから逃れたい一心で農民が考え、作り上げたのが「猪垣」でした。当時の資料「石原村庄屋嘆願書」(1803年)から農民の苦悩が伝わります。

「石原村庄屋嘆願書」(簡略文より抜粋)
 ……私どもが困っていることは、以前から猪鹿猿などがたくさん出て、作物を食べ荒らしてしまうことです。……山間の田畑がみな荒らされて、つぶれてしまう百姓もおります。村のみんなが相談して、お金を借りて石垣などを積んでいます。毎年修理が必要ですし、年中見張りや夜回り番などもありますが、きわめて山中の村のために、猪鹿などがたくさん出て作物を荒らしてしまうため、石垣を積んだ中までも荒らされてしまうようありません。……」



日本一の猪垣 万足平 [有形民俗文化財] [岡崎観光さきどり百選]
 (岡崎市公式観光サイト 水とみどりの森の駅より)



(ふるさと読本ぬかたより)



(岡崎市公式観光サイト 水とみどりの森の駅より)



(ふるさと読本ぬかたより)

猪垣は、垂直に石が積んである物が多いですが、猪返しといって山手側に反らせて積んである物もあります。

額田地区南部の男川流域では、猪垣作りに適した平たく四角に割れやすい石「額家片麻岩」^{りょうけへんまがん}が取れたことから、猪垣が多く分布しています。地区内の猪垣は総延長60kmに及び、総工費は現在のお金で数十億円かかったと言われています。また、猪垣が壊れた場合も、その修理は農民の負担となり、作る苦勞だけでなく、維持する苦勞もありました。

民話『額田の風土記』には、当時の農民の様子や猪垣作りの過酷さを描いたお話が載っています。ぜひ読んでみてください。



●参考資料●「ふるさと読本ぬかた 第3版」ふるさと読本『ぬかた』編集委員会／編 額田町教育委員会 AN/293/フ、「額田の風土記」額田町教育委員会／編 額田町教育委員会 AN/293/又、「額田町史」額田町史編集委員会／編 額田町 AN/233/、HP「岡崎市公式観光サイト 水とみどりの森の駅」

❖ 図書館からのお知らせ ❖

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会、ブックスタートは中止や変更をしております。

最新情報は、図書館ホームページ、館内掲示等でご確認ください。



冬号のおすすめ本



ちいさいこむけ

『たいこ』

樋勝朋巳/ぶん・え 福音館書店 CE/E/タ
「トントントントン・・・」

だれかがたいこをたたいているよ。つぎからつぎへとなかまがらえて「ポコポコ」「ベタベタ」「ボンボン」たたく。その音たちがつながると・・・さあ！だれもがみ～んなノリノリだ♪音とリズムがとびでてきそう！

音楽って楽しい、笑顔っていいなって思える絵本。きつとなかまに はいりたくなるよ！



小学生向け

『鬼遊び 闇の子守唄』

廣嶋玲子/作 小峰書店 913/ヒ/4

ハルは、仲良しの女の子4人と大きなかまくらを作りました。できあがったのは、空がだいぶ暗くなりかけてから。みんなは家族に内緒で、その夜集まることにします。一番にハルがかまくらに着くと、すでに座布団や火鉢が置いてありました。でも、用意したのは友達ではなかったのです。みんなは薄気味悪くなり、急いで家に帰ろうとしますが…。この他にも、怖いお話が5作のっていますよ。



YA 向け

『みつきの雪』

眞島めいり/作 講談社 YA/913/マ

小学五年生の冬、行人は〈山村留学生〉として同い年の満希の住む村にやってきた。期間は二年間のはずなのに、中学生になっても山村に留まる行人。それには理由があった…。山村の自然に抱かれながら成長した二人は、明日高校を卒業し、さよならの瞬間を迎える。

雪の冷たさとは対照的に育まれる思いやりに、心が温くなる物語です。



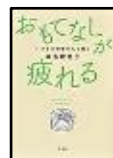
大人向け

『おもてなしが疲れる』

本多理恵子/著 平凡社 596.4/オ

人を招いて食事を共にする。手間がかかり、ストレスになりませんか？「疲れないおもてなし」ができれば楽しめます。「豪華な料理」や「きれいすぎる空間」は必要ありません。料理は買って来たものを並べるだけでOK。お掃除は見えるところだけでOK。自分の無理のない範囲で楽しみましょう。

おもてなしを、“気楽に”始めてみませんか？



かんぎゅうじゅうとう

『汗牛充棟』…所有している書物を車に載せれば、車を引く牛が汗をかくほど重く、家の中で積み上げれば上の棟木に届くほど多いという意味です。皆さんは本をどれくらい所有していますか？図書館を活用すれば、置き場所に困ることもありませんよ。2021年の丑年も、スタッフ一同皆様のお越しをお待ちモウしあげております。



岡崎市立額田図書館

榊山町字山ノ神 21 番地 1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。

年末年始休館：12/28(月)~1/4(月) 特別整理休館：1/26(火)